

尾張旭市誌編さん委員会 会議録

- 1 開催日時
平成 23 年 3 月 29 日 (火)
開会 午後 2 時 0 0 分
閉会 午後 3 時 0 0 分
- 2 開催場所
尾張旭市中央公民館 第 2 研修室
- 3 出席委員
塩澤君夫、稲浪智士、荻谷 勝、寺尾結子、松原弘道、坂野郁夫 6 名
- 4 欠席委員
白鳥眞紀 1 名
- 5 傍聴者数
0 名
- 6 出席した事務局職員
教育長 玉置 基、教育部長 寺尾高志、文化スポーツ課長 若杉英明、
文化スポーツ課長補佐 加藤博英、市誌編さん係長 坂田みどり、
市誌専門員 柴田鐘三
- 7 議題等
(1) 『尾張旭市誌 現代史編』について (配布)
(2) 『尾張旭市誌 現代史資料編』について
(3) その他
- 8 会議の要旨
課 長 | 案内の時間になりましたので、只今より尾張旭市誌編さん
| 委員会を始めさせていただきます。
| 本日は、白鳥眞紀委員から欠席のご連絡をいただいておりますが、尾張旭市誌編さん委員会条例第 6 条の 2 に規定された
| 半数以上の委員が出席されておりますので、市誌編さん委員会を始めさせていただきます。
| なお、この会議につきましては、尾張旭市情報公開条例
| に基づき、公開とさせていただきます。また、議事録の公開
| を行うため、当会議の録音と会議要旨を市ホームページ上で
| 公開することについてもご了承いただきたいと存じます。よ
| ろしくご理解とご協力をお願いいたします。
| それでは、まず会に先立ちまして、玉置教育長より挨拶を
| ささせていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長	《あいさつ》
課長	それでは、この後の進行については 松原委員長にお願いしたいと思います。
議長	議事に移ります。「2 報告事項」について、事務局より説明をお願いします。
係長	<p>それでは、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>(1)『尾張旭市誌 現代史編』についてです。現物は、皆様のお手元にお配りしております。</p> <p>尾張旭市は、平成22年12月1日に市制施行40周年を迎えました。『尾張旭市誌 現代史編』はこの市制40周年の年に発刊することをめざして、平成14年度から準備を進めてまいりました。そして、今日、皆様のお手元にお届けできることとなりました。当初の予定では、12月1日の市制施行記念日の発刊をめざしておりましたが、執筆作業等に遅れが生じまして、平成23年3月1日付けの発刊となりました。</p> <p>今年度の状況についてご説明いたします。編集員と執筆協力者が行う編集会議では、第1回から第7回までが、『現代史編』の原稿検討。第8回から第10回までが、平成23年度発刊を目指しております『現代史資料編』の準備を行っております。</p> <p>これと並行しまして、6月には市誌の印刷製本業者を指名競争入札で決定。9月に原稿を業者に引き渡す「出稿」を開始しましたが、編集員によって原稿提出の時期にバラつきがあり、12月発刊が困難となりました。11月12日に、監修者の塩澤君夫先生と市長に懇談していただき、発刊を3月にする旨、了承いただきました。この後、11月末には出稿が終了し、2月には校正作業も終了、3月に発刊という運びとなりました。</p> <p>22年度事業の最後といたしまして、4月1日号広報とともに「尾張旭市誌だより第7号」を全戸配布し、市民の皆さんに『尾張旭市誌 現代史編』発刊をお知らせする予定です。ちなみに、市誌の販売価格は、昨年度の市誌編さん委員会の諮問答申どおりに、5,000円となっています。</p>

続いて、(2)『尾張旭市誌 現代史資料編』についてご説明します。

来年度、平成23年度は『尾張旭市誌 現代史資料編』を発刊いたします。これに伴いまして、編集会議を開催、各分野の掲載資料の選定・検討を行うとともに、資料解説の執筆を行います。

最後に、『現代史資料編』の構成案ですが、資料2の『尾張旭市誌 現代史資料編』構成案をご覧ください。分野別け、担当者等は、『現代史編』の担当分野を踏襲した分担を考えております。

資料編は、資料掲載が中心ですので、編集員の先生方には掲載資料の選定と検討に加え、各分野の資料解説を執筆していただく予定です。現在はすでに、資料の選定及びデータ化に取り掛かっております。

簡単でしたが、以上で説明を終わります。

議 長	ただいまの事務局からの説明に対して、何か質問やご意見がありましたらお願いいたします。
塩澤委員	<p>『尾張旭市誌 現代史編』の監修をしております塩澤です。今回の市誌発刊の遅延について、少しご説明させていただきます。</p> <p>尾張旭市誌現代史編の発刊については、当初から市制記念日の12月1日発刊を目指し、執筆を担当する編集員の方々と資料収集や検討、原稿検討等を進めてまいりましたが、私どもの原稿執筆の遅延により発刊が遅れてしまったことをお詫び申し上げます。言い訳になってしまいますが、当初、尾張旭市誌の編さんは、編集員と監修者の私を含めて5名で活動して参りました。が途中、平成19年に編集員のひとり小林賢治氏が急逝されました。小林氏は優秀な研究者として今回の市誌執筆でも多くの分野を担当しておりました。非常に残念なことです。残された私たちは、彼の担当分野をどうするか協議しましたが、新たに編集員を迎えその方に尾張旭市を研究して戴くには時間が足りないとの判断で、小林氏の調査されました資料をもとに、残りの編集員の分野・分担を見直して、執筆を行なうことといたしました。それぞれ努力</p>

	<p>もいただきましたが、大学が独立行政法人となるなど変革の時期で、まとまった研究時間を取ることも難しく、結果このような次第となり、大変申し訳ございませんでした。ですが、内容については編集員みな、自信をもっております。是非ご一読いただければと思います。</p>
議 長	<p>その他、ご意見・ご質問はございませんでしょうか。</p>
荻谷委員	<p>以前、この委員会で出された意見は、反映されていますか。</p>
係 長	<p>以前ご意見いただきました、あさび一号の記述については、第四章 商工業の第三節 交通・通信で取り上げております。また、聞き取り調査等の内容も多く掲載しております。市民生活の変化も読み取って戴けるのではないのでしょうか。</p> <p>「既刊の市誌（S46、55年発刊）は少し字が小さく読みづらいので、誰もが読みやすいようにしてほしい」との御意見もいただいております。今回の市誌は既刊と同じA5版ですが、その制約の中でもできる限り文字を大きくしております。また、印刷技術もよくなっておりますので、なんとかご希望に添えているのではと思います。</p>
荻谷委員	<p>ありがとうございました。よく読ませていただきます。</p>
議 長	<p>その他、ご意見・ご質問はございませんでしょうか。</p>
委 員	<p>(特になし)</p>
議 長	<p>それでは、この他に、事務局の方で何かありますか。</p>
課 長	<p>特にありません。</p> <p>本日は、長い間ありがとうございました。この会議の会議要旨については、後日ホームページ上で公表いたしますので、ご了承ください。</p> <p>最後に、教育部長 寺尾高志より、ご挨拶いたします。</p>
部 長	<p>《あいさつ》</p>
議 長	<p>以上をもちまして、本日の尾張旭市誌編さん委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p>